



- ①菅谷市長から新成人へエール
- ②新たな一步を踏み出した新成人
- ③懐かしい恩師のメッセージ上映に歓声を上げる新成人
- ④実行委員長の関真理菜さんが新成人を代表しあいさつ
- ⑤古河和太鼓保存会のお祝いの演奏に、新成人も参加。会場を盛り上げました

新成人を代表して「20歳の主張」を述べました



みつはしけんご
三橋賢悟さん
(小堤)

感謝の心を持って

私は先日無事に20歳を迎えることができました。数えきれないほどのやんちゃを繰り返してきましたが、そんな私も高校を無事卒業し、現在は地元の企業で仕事をしています。

会社の雰囲気や作業にも慣れ、今ではすっかり馴染んでいます。正直最初は大変でした。父と同年輩の上司から、大卒の同期もいます。そのため、一日でも早く認めてもらえるよう必死で頑張りました。勤め始めて間もなく、年配の上司と食事をしていると「若いのに仕事ができる」と褒めてもらえたときはめっちゃ嬉しかったのを覚えています。

両親にも今までかなりの迷惑をかけてしまいました。これからも迷惑をかけてしまうことをお許しください。20歳の区切りとしてお礼を一言。「ありがとう、大好きです」。

※一部要約しています。



なるみしげき
鳴海成樹さん
(大山)

ふるさと古河を胸に

私はこの20年間、多くの人たちに支えられて生きてきました。ここまで育ててくれた両親、喜びや悲しみを共に分かち合った友人、学ぶことの楽しさを教えてくれた先生、そして、いつも温かく見守ってくれた地域の方々。今、感謝の気持ちでいっぱいです。

私はいつもマイペースで、何かあるたびに周りの方々に助けられました。特に、両親には、生活面や進路でたびたび迷惑をかけてしまったので、今後は私が家族を支えられるよう頑張ります。

私は今年3月に専門学校を卒業し、4月から社会人としての生活が始まります。常に社会人としての自覚を持ち、誰からも慕われるような人間になることを目指したいです。

ここにいる全員がこのふるさと古河で得たもの、学んだことを生かして、この先、より良い人生を歩めるよう祈りつつ、20歳の誓いといたします。

※一部要約しています。